

いずみさの教育

NOW

問合せ
学校教育課
☎493-2091

ともに学び、ともに育つ
～みんなが自分らしく輝ける学校へ～

今、教育のキーワードとして「インクルーシブ教育」が注目されています。これは、障害の有無にかかわらず、すべての子どもたちが同じ場所で共に学ぶ仕組みのことです。

インクルーシブ教育が目指しているのは、単に「同じ教室にいる」ことだけではなく、一人ひとりの個性やニーズに合わせて学習内容や環境を柔軟に整えることで、誰もが排除されることなく、自分の力を最大限に発揮できる「共生社会」を実現することです。そのため本市では、就学前から中学校卒業まで「切れ目のない支援」を大切にしています。

まず、就学前の段階からこども園や幼稚園、保育所などと連携して「就学相談」を行っています。保護者のみなさんの不安に寄り添い、子どもにとっての「よりよい学びの場」を共に考えていくプロセスを何よりも大切にしています。

入学後は、本人や保護者の思いをしっかりと反映した「個別の教育支援計画」を作成し、きめ細かなサポートを続けます。この計画はいわば、子どもの歩

みを導く「成長の地図」です。また、学校の中だけでなく、医療や福祉、放課後等デイサービスなどとも手を取り合い、子どもの生活全体を支えるチーム体制を整えています。

各学校では、障害のある子どもだけでなく、外国にルーツのある子どもなど、多様な背景を持つすべての子どもたちが学習に楽しく参加できるように、授業や教材の工夫を重ねています。また、教員のほかに、支援教育サポーターや介助員、医療的ケア看護師、手話・外国語通訳者などのスタッフがおり、子どもたちの安心と安全を多方面から支えています。

幼いころから、いろいろな友だちとお互いを認め合って過ごす経験は、相手を尊重する心を育む「一生の宝物」になります。多様な存在が当たり前に大切にされる環境こそが、すべての人にとって優しい社会をつくる第一歩になると信じています。

すべての子どもたちが「自分らしく」学び、育っていただけるよう、これからもインクルーシブな環境づくりを進めてまいります。みなさんの温かいご理解とご協力をお願いいたします。

学校園紹介

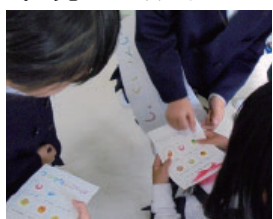


出合いを大切に -1・2年生の学習より- ～長坂小学校～

長坂小学校は人権教育において「出合い」を大切にしています。子どもたちは学習内容に関する人に出会うことで学びを深めています。今回は1・2年生の出合いの取組です。

今年、46人のピカピカの1年生が入学してきました。それぞれが通っていた園とは異なり小学校の校舎は広く、園にはない教室もあり、どこがどこなのかわかりません。そこで登場するのが2年生です。2年生は学校で1年間過ごしてきました。その経験を生かして1年生をエスコートしながら学校の中を紹介する「学校たんけん」が今年も行われました。

2年生はエスコート班と説明班に分かれ、エスコート班は1年生が迷子にならないように手をしっかりと握って廊下を歩きます。説明班は紹介する場所の前で1年生が来るのを緊張しながら待ち、無事に説明とクイズが終わると、たんけんカードにシールを貼りました。始まる前の緊張はどこかへ行ってしまったようで、笑顔のステキな良いお兄さんお姉さんになっていました。2年生は1年生にとって長坂小学校で一番長く一緒に過ごす学年です。いつまでも良いお手本となり1年生をリードしてくれることでしょう。そして4年後にはこの2つの学年で心に響く卒業式を見せてくれることを信じています。



人は様々な人に出会う中で成長し、様々な体験を通してその心を成長させていきます。長坂小学校はこれからも出合いを大切に人権学習を進め、未来へはばたく「ながさかっこ」を育成していきます。



つながる！「つながりタイム」 ～日根野小学校～

日根野小学校には「つながりタイム」という名の「たてわり班活動」の時間があります。全校児童数が786人（5月1日現在）という規模の大きな学校ですが、全学年をそれぞれ48のグループに分け、1～6年生を合わせて1グループ16～17人となる小グループ「たてわり班」を作り、年間に4～5回集まり楽しく活動します。楽しい時間を過ごしながらも、低学年は高学年からリーダーシップを学び、高学年は低学年と過ごす時間の中で人に優しくすることの大切さを改めて認識します。これが「キャリア教育」の基となります。

具体的な活動は、第1回は「班（メンバー、リーダー、ネクストリーダー）決定」、第2回は「自己紹介、班のめあて策定、室内遊び」、第3回は「平和について考える（6年生からの話、おりづる作成）」、第4回は「室内遊び」、第5回は「ネクストリーダー（5年生）が司会での室内遊び（令和7年度の例）」です。遊びや生活を通して様々な人とふれあい、交流する中で感じることや考えることは集団でこそできる貴重な経験で、これこそが生きた学びといえます。テストで点数の出る学力とは別の、人の気持ちを考えたり自分の気持ちを丁寧に伝えたりできるなどの大切な力（非認知能力）を養う機会です。「つながりタイム」でこういった力も身につけてもらいたいと考えています。

